

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 9 - 1

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		除雪事業				
評価者	担当課名	建設水道課		担当係名	土木管理係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	大場利昭		氏名	田原慎也
事業の概要	本事業は、冬期間の幹線道路及び生活道路の交通確保を図るため、除排雪を直営及び委託によって実施する事業であります。				全体計画 / 期間限定複数年度 (平成 20 年度 ~ 24 年度)	事業費 国・道支出金 9,000 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 255,665 千円 事業費計 264,665 千円
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	A	
事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武 ~ 生活環境・生活基盤の充実 ~			
	基本施策	#	交通体系の整備			
	単位施策	1	道路環境の向上			
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	5,565 千円	9,659 千円	9,000 千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	44,774 千円	41,385 千円	44,240 千円	52,960 千円	52,960 千円
	合計	50,339 千円	51,044 千円	53,240 千円	52,960 千円	52,960 千円

561

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	雪による交通障害。	除雪延長			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	冬期間の幹線通路と生活道路の交通及び安全性の確保。	指標 (指標計算式 / 解説)	除雪延長 / 除雪延長の実績	目標値及び実績値	
				目標年度	平成21年度
				目標値	155.0 m
				実績値	155.3 m
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	冬期間の交通及び安全性の確保。			達成度	100.2 %
				目標年度	
				目標値	
				実績値	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
直営と民間委託による除雪の実施	除雪は、直営分で借り上げた運転手4名及び添乗員3名と職員運転手3名で19.9kmを、委託分は民間業者により135.4kmを行った。				
直営による排雪の実施	排雪は、不足運転手及び機械を民間業者より借り上げ直営で実施した。				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	冬期間の幹線道路と生活道路の交通及び安全性の確保は、町が担う必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、冬期間の幹線道路と生活道路の交通及び安全性が確保された。
	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	入札により事業費が抑制できたことと、前年度に引き続きコストに見合った効果が得られたため、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	冬期間の幹線道路と生活道路の交通及び安全性の確保が出来たことは、不特定多数である道路利用者に対して公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
冬期間の除排雪は、交通確保上必要不可欠なものであることから、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		

<b>今後の展開方向</b> (Action)	↓	↓	↓
	<b>継続 / 現状維持</b> 冬期間の除排雪は、降雪量により左右されるが、交通確保のためには必要不可欠であることから、継続、現状維持が適当であると判断する。		
*展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更      終了      休止      廃止			

### 5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--